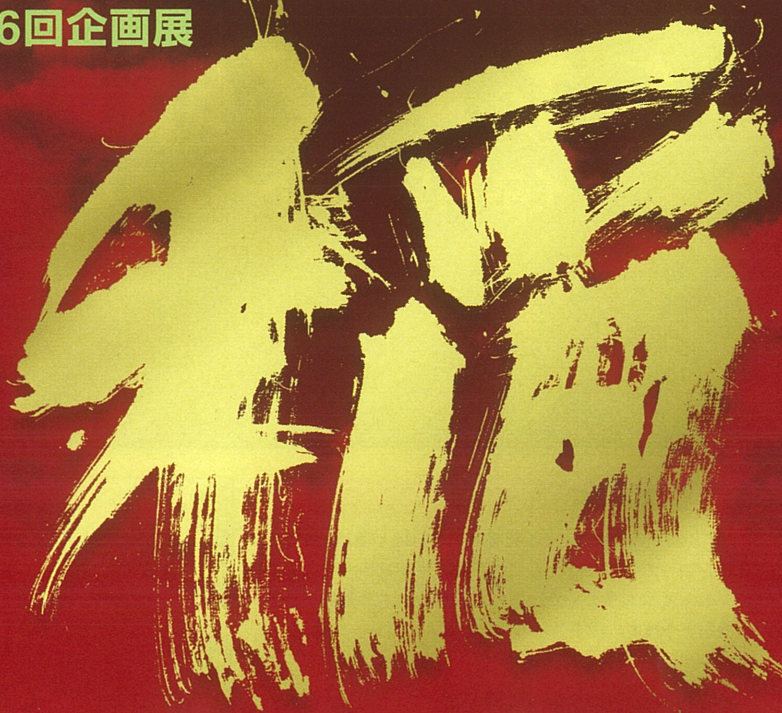


Oryza, The Plant of Life and Sapience – Welcome to Our Grassic Park –

第26回企画展

穂
葉
葦



粟
稗
黍
禾
稻
粳
麥

心と文明の植物

— イネ科ワールドへようこそ —



2002年
10月19日(土)
2003年
~1月13日(月)



湖野伸夫「想い出の水郷」より

- 開館時間 / 午前9時30分~午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日 / 毎週月曜日 (ただし11月4日・12月23日・1月13日は開館し、翌日が休館となります。)(年末年始の休館は12月28日から1月1日まで、1月2日より通常通り開館します。)
- 入館料
 - ・大人 720円 (580円) * ()内は20名以上の団体料金です。
 - ・高・大学生 440円 (300円) * 未就学児・65歳以上の方、障害者手帳を持参の方は入館無料です。
 - ・小・中学生 140円 (70円) * この料金には、本館常設展・野外施設入館料が含まれています。
- 共催 / NHK水戸放送局
- 後援 / ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会

- 記念イベント
 - ・自然講座 かやぶき屋根のひみつ発見 / 11月17日(日)
講師: 木間塚勝吉氏 (茅葺き屋根職人)
 - ・自然講座 21世紀の地球とイネの国 日本の役割~日本の水田文化を見直そう~/1月12日(日)
講師: 富山和子氏 (立正大学教授)
 - ・ミュージアムコンサート 尺八ーイネ科の奏でる日本の調べー / 12月22日(日)
出演: 横田鈴城氏 (日本三曲協会評議員) ほか
- ※上記イベントはすべて事前申込み制となっています。電話または博物館ホームページにてお申し込み下さい。

次回企画展のお知らせ

- 特別企画展
「アートが植物を救う 絶滅危惧種と植物画の世界」
2003年2月1日(土)~2月23日(日)
- 第27回企画展
「サイエンス鑑ケ浦 きみは鶴ヶ浦に何をみるか...」
2003年3月15日(土)~6月15日(日)



ミュージアムパーク
茨城県自然博物館

〒306-0622 茨城県岩井市大崎700番地 TEL 0297-38-2000
ホームページアドレス <http://www.nat.pref.ibaraki.jp/>

題字: 館部二一(蘭筆)
古紙配合率100%再生紙を使用しています。

暮らしと文明の植物

—イネ科ワールドへようこそ—

この企画展で紹介するのは、野生植物のなかの最も大きなグループのひとつであるイネ科植物の多様性とヒトとの関わりです。野生のイネ科植物を通して多様性を、イネ科の栽培植物や茅葺き屋根を通してヒトとの関わりを考えます。さらに、日本人と最も関係の深い植物であるイネの歴史と特徴について解説することによって、イネをいのちと文明の植物と呼んだ理由についても明らかにしていきます。

穀類の世界

現在までに数多くのイネ科の栽培植物である穀類が誕生し、社会や文明の成立に大きな影響を与えました。ここでは、日本に定着している穀類の数々を通して、人間の食を支えるイネ科植物を紹介していきます。

オリザ・ルフィボゴンの種子



コムギ

野生イネ科植物の世界

野生イネ科植物は、日本に約700種、茨城に約200種あるといわれています。ここでは、乾燥標本だけでなく、生体やアクリル封入標本も展示して、より立体的な姿でお目にかけます。

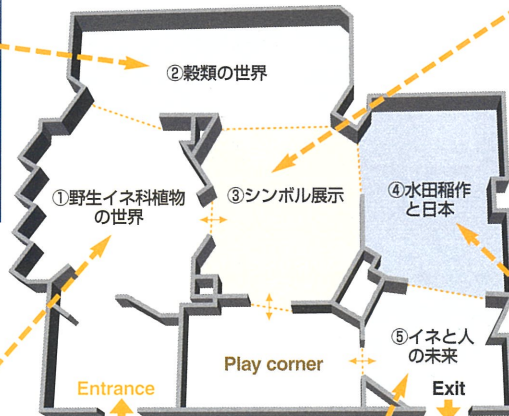


タケの花
提供：内村悦三

コバンソウ
撮影：野口多蔵

シンボル展示

ヒトの生活全体に、イネ科植物がどれほど関わってきたかを知っていただくために、茅葺き屋根を中心としたシンボル展示エリアを設けました。懐かしさの他に、先人の知恵や技術の緻密さにも注目してください。



かやぶき屋根

水田稲作と日本

日本とイネの関係は数千年という時の長さとともにありました。ここでは、その歴史自体とその過程で生み出された田んぼという装置のすばらしさについてふれていきます。



田んぼ



田んぼで米づくり

イネと人の未来

近年、イネとヒトに関した様々な試みの成果があがってきています。教育の現場でもイネを素材とした学習活動が行われています。ここではいくつかの例から、イネと日本人の未来像をさぐっていきます。

交通案内

- 車利用の場合
 - ・常磐自動車道谷和原ICから20分
 - ・古河方面から境町経由50分
 - ・下館方面から下妻市経由1時間10分
 - ・土浦方面から水海道市経由1時間
- 鉄道・バス利用の場合
 - ・関東鉄道常総線水海道駅から関東鉄道バス「岩井車庫行き」又は「岩井西高行き」乗車→「辺田三叉路」下車、茨城急行バス「野田市駅行き」に乗り換え→「自然博物館入口」下車→徒歩10分
 - ・東武野田線愛宕駅から茨城急行バス「岩井車庫行き」乗車→「自然博物館入口」下車→徒歩10分
 - ・東京駅八重洲口から高速バス「岩井行き」乗車→「辺田香取神社」下車茨城急行バス「野田市駅行き」に乗り換え→「自然博物館入口」下車→徒歩10分

*ペット及び遊具等の持ち込みはご遠慮下さい。

主な展示物

- ◆野生のイネ科植物に関して
 - ・生きたイネ科植物/高さ4mのダンチク
 - ・イネ科植物の多様性（標本と写真）
 - ・絶滅危惧植物フクロダガヤ/マコモタケ（実物）
- ◆イネ科の栽培植物に関して
 - ・野生イネと栽培イネ/コムギの姿に見る進化
 - ・穀類の立体乾燥標本/穀類とその製品
- ◆ヒトの暮らしとイネ科植物に関して
 - ・茅葺き屋根/実物の茅/イネ科植物でできた製品
 - ・ワラボードーム
- ◆イネに関して
 - ・炭化米/浮きイネ/シーボルトの採集したイネ
 - ・学校でのイネの栽培/いろいろなイネの品種
 - ・新しいイネ製品

題字はワラを使って書かれたものです。

